

「お世話になった皆様へ 心より感謝申し上げます」

父の性格をあらわすなら豪放磊落という言葉が最もふさわしいのではないでしょうか。医師として医学者として脇目もふらず駆け抜けてきた父は、冷凍血液の技術発展のために力を尽くし、日本低温医学会の理事としての務めも全ういたしました。常に多忙な日々を送っておりゆっくり休んでいる姿を見たことはありません。患者様のために、そして日本の医学のさらなる進歩のために、情熱を捧げてまいりました。

そんな性分だからか何事にも手を抜けないのでしょう。わずかな時間を見つけては油絵に 心を寄せ、国内のみならず海外で個展を開くこともあった父。いくつ年をかさねても、は つらつとしており、賑やかにお酒を呑んで陽気に笑っていた姿も記憶に鮮やかです。

そうして真っ直ぐ己の道を進んできた父が、昨年の元日に突然個展を開きたいと言い出し、 そのときは急な話に驚きを隠せませんでした。

後になってわかったことですが、実は亡くなる二年前に大きな病が見つかっており、もしかしたら残された時間が短いことをわかっていたのかもしれません。私たちがそのことを知らされたのは今年の七月のことで体の限界がくるまで診療も手術も研究も続けることかできました。

自分らしく生きることができた長き歳月に、父もきっと満足しているのではないでしょうか。

父 隅田幸男は、平成29年11月1日、84才にて生涯をとじました。

共に喜び、時に手を差し伸べてくださった皆様のおかげで、父は山も谷も乗り越えることができました、心から感謝申し上げます。

略儀ながらこの書状をもってお礼申し上げます。

平成 29 年 11 月 10 日(告別式)

喪主 隅田竜太郎

外 親戚一同